

情報公開と行政監視に取り組む市民ウォッチャー・京都 御中
候補者アンケートのご回答

2026年3月20日 京都府知事選挙候補者 藤井伸生

1 現在、北陸新幹線の延伸問題が府民の関心となっております。そこでお尋ねします。

(1) 京都府内に北陸新幹線を延伸する意見についてどのようにお考えですか。

回答（推進する、 推進しない、 決めていない、 その他： ）

(2) 推進するとご回答された場合のルートはお考えですか。 回答（ルートをお書きください:）

2 京都府内では、大規模病院の経営が苦しく、今後廃案・撤退などが起こりそうだとの報道があります。そこでお尋ねします。

(1) 貴殿は、このような事態を知っていますか。

回答（ 知っている、 知らない）

(2) 報道されている事態が存在するとしたら、どのような政策を取るべきと考えますか。

回答：

国が進める病床削減や病院統廃合方針に反対するとともに、経営危機にある医療機関への直接的な財政支援や、診療報酬の臨時改定を国に求めます。

府立医科大学附属病院、府立洛南病院、府北部医療センターの看護師を大幅に増員し、夜勤体制の改善や長時間労働の是正、公務員並みの処遇改善を推進します。さらに、民間病院の耐震工事への公的助成の拡充や、医師少数区域での医師確保、精神科医療・周産期医療の体制整備を強化します。

府立看護学校の充実など、看護師の確保、OT・PT・STの養成・確保と地域偏在解消の対策を講じます。

3 世界的に観光地が観光客で混雑している状態があると報道されています。京都もそのひとつに挙げられています。そのため、環境悪化への懸念や地価の高騰に繋がっているとの見解もあります。そこでお尋ねします。

(1) 現在のオーバーツーリズム状態は解消すべしとお考えでしょうか。

回答（このままでよい、 規制が必要である、 その他: ）

(2) 仮に規制が必要と思われる場合、どのような規制が適正でしょうか。

回答：

インバウンド偏重の観光政策を見直し、府内・国内観光客誘致に重点を移すとともに、府域内での消費を喚起するために内需をあたためる経済政策に転換します。特に京都市内において、受け入れ能力を超える観光客が殺到し、住民生活に重大な支障が生じていますから、京都市と協力して対策を講じます。また、民泊の規制強化も行うよう、京都市と連携して取り組みます。

(3) また、観光客を収容するホテル数や投機的マンションの建設が地価高騰の原因と言われますが、貴殿はどのようなご意見をお持ちでしょうか。

回答：

観光客増加に伴うホテル建設の拡大や投機的マンションの増加が、地価高騰の大きな要因の一つであると考えます。宿泊施設や投資用不動産の建設が優先されることで、家賃の上昇や住民の流出を招いています。これらの背景には、インバウンド偏重の観光政策やそれに伴う様々な規制緩和があります。

(4) 地価の高騰に対し京都府として抑制策をとるとすれば、どのような政策が考えられるでしょうか。

回答：

大規模開発や規制緩和で市場任せにしてきた方針を転換し、宿泊施設の総量規制や立地制限など、公的なコントロールを強化し、住環境を守るべきです。

4 現在、京都駅前の開発でビルの高さ制限を緩和して61メートルまで認める計画があります。

そこでお尋ねします。

規制緩和を肯定しますか

回答（○規制緩和は認められない、 認める、 その他： ）

5 イラン情勢に関して、現在、我が国の自衛隊がホルムズ海峡に出動するかどうかの問題に直面しています。

貴殿のお考えをご自由にお書きください。

アメリカとイスラエルがイランを攻撃し、多くの子どもや市民が巻き添えになり、今も攻撃が続いています。これは、明確な国際法違反です。自衛隊がホルムズ海峡に出動すれば、アメリカが起こした戦争に日本が参加することになりますから、絶対にすべきでないと考えます。

加えて、舞鶴市の自衛隊基地や精華町・京田辺市の祝園分屯地の弾薬庫建設等、アメリカと一体化したミサイル基地強化が進められていますが、これは府民に負担と危険をもたらします。私は、抗議の声をあげるとともに、日本国憲法を土台に、平和を望む皆さんと連帯し、基地強化にも、戦争にも反対します。